

INFO

企業誘致を推進しています!

香川県では、企業の新規立地や拠点を拡大を促進するため、さまざまな支援を行っています。

優遇制度

企業誘致助成制度

県内に工場、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設などを設置する企業に対して、**最大5億円**を助成します。

税制優遇制度等

法人税の優遇、不動産取得税等の免除、低利融資が受けられます。

※上記の制度は、市町の制度と併用できます。

※適用要件など詳細についてはお問い合わせください。

物件探しや人材確保などのサポート

・**用地・オフィス物件情報**の提供、立地に係る**行政手続き**をワンストップで支援します。

・さまざまな機関と連携し、人材確保などの支援をします。

香川県版ハローワーク「ワークサポかがわ」

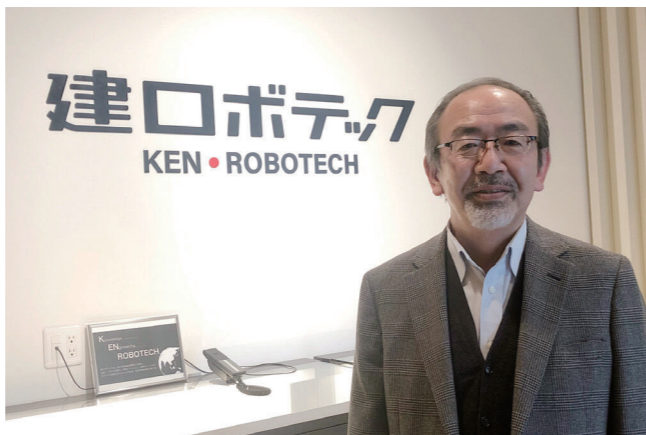
正社員の求人サイト「ワクサポかがわ」に登録いただくと、求人情報の掲載や専門のコーディネーターから企業のニーズに沿った香川県ならではの人材提案を受けることができます。

オープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」

専門コーディネーターが常駐し、人材育成や交流など多彩なイベントを開催。スタートアップ支援やビジネスマッチングなども支援しています。コワーキングスペースもあります。

問い合わせ先

企業立地推進課 総務・企業誘致グループ
高松市番町四丁目1番10号 東館6階
☎ 087-832-3355



取締役CFO 山田通徳さん



トモロボ 鉄筋結束用



トモロボ 運搬用

「当社はロボット屋というわけではなく、建設工事にかかわる全29業種において省力・省人化を総合的に提案する企業です」と山田さん。大手ゼネコンなどと連携した受託開発やノウハウの共有も含め、ロボット開

建設業に関わる人の輪をグローバルに広げる発想

「建設業の現場には、組んだ鉄筋の交差部分を結束して固定する工程があります。真夏や真冬でも屋外で中腰のまま長時間行う必要があり、職人にとって大変な作業。代表取締役社長兼CEOの眞部達也さんは建設会社の後継者で、自身も鉄筋職人として働いた経験から、こうした現場の負担を効率化・省力化によって解決し「世界一ひとにやさしい現場を創る」ミッションを打ち出しました。そのアイデアから生まれたのが、「トモロボ」

屋根作業用や運搬など現在5種類を展開しています。「建設業もIT化が進んでいますが、現場作業の機械化が成功した例はこれまでほとんどありませんでした。当社がそこで強みを発揮しているのは、徹底した現場目線ゆえだと自負しています」と、取締役CFOの山田通徳さん。

同社のものづくりは、自社で試作を重ね、現場検証をして量産できる設計に仕上げたあと、製造のみを外部に委託するスタイル。余分な機能を徹底的にそぎ落としたシンプルな設計、手袋をしても扱いやすい操作性、施工会社が導入しやすい価格設定など、実際の現場を知るからこそわかる現実的な性能を追求したトモロボシリーズは、全国の建設関係企業に55台が導入され、レンタル方式での導入現場数は100カ所以上。海外の展示会などでも高い注目を集めています。

「建設業は高齢化と人材不足という課題を抱えています。工事量はむしろ増加傾向。建設業に5年の猶予期間が設けられている時間外労働規制（働き方改革）の本格的導入が2024年4月に実施されると、作業時間も短縮され、どう考えても現場の効率化は不可欠です。工事の4割以上を占める過酷な単純作業はロボットに任せて、熟練の技術を持つ職人たちが高度な作業に集中できる環境をつくりたい」。

一方では、現場で働くロボットを遠隔操作できる環境を整え、従来は建設業に進出しづらかった女性や身体障がい者が建設工事に関われるチャンスを広げていく構想も。「ロボットは人の判断で動きます。高い判断力を持つ人材を柔軟に起用するダイバーシティ化もチームの一つで、いずれは海外からでも現場にアクセスできるようにしたい」と力を込める山田さん。こうした環境整備を通じて、特に若い世代に向けた魅力的な建設業の在り方を模索し、新しいワークスタイルを生み出していこうとしています。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

建設工事の現場には、組んだ鉄筋の交差部分を結束して固定する工程があります。真夏や真冬でも屋外で中腰のまま長時間行う必要があり、職人にとって大変な作業。代表取締役社長兼CEOの眞部達也さんは建設会社の後継者で、自身も鉄筋職人として働いた経験から、こうした現場の負担を効率化・省力化によって解決し「世界一ひとにやさしい現場を創る」ミッションを打ち出しました。そのアイデアから生まれたのが、「トモロボ」

現場の負担を軽減する独自のロボットを開発

省力・省人化で目指す新しい建設業の在り方

挑戦する かがわの 59 ものづくり企業

職人技とロボティクスの共存で、建設現場をもっと魅力的に！建設業の課題解決を通じてグローバルな展開を目指す、かがわのものづくり企業を紹介します。

建ロボテック株式会社

（住所）三木町上高岡246番地2
（設立）2013年
☎087-898-0555
<https://kenrobo-tech.com/>



代表取締役社長兼CEO 眞部達也さん

シリーズです。トモロボは、建築・土木工事現場で職人たちが楽に働けるようサポートする「人と共に働くロボット」。4年の開発期間を経て2020年に発表した「鉄筋結束トモロボ」を皮切りに、